

令和4年度 第3回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時：令和5年3月17日（金）午前10時から午前11時まで

場所：日進市役所本庁舎2階 第4会議室

出席委員：津金美智子、衣川友紀、牛田由美子、熊谷豊、齋藤由美、早川里美

欠席委員：伊藤龍仁、大津正仁、南千景、関根聖美、早川真理、井上晴子

事務局：こども未来部 棚瀬部長

子育て支援課 鈴木課長、村瀬主幹、荒川課長補佐、宮下主査

傍聴可否：可

傍聴有無：なし

<次第>

1 あいさつ

2 議題

(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

(2) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

① 令和5年度保育園等利用申込状況について

② 令和5年度放課後児童クラブ等の申込状況について

3 その他

<議事録要旨>

2 議題

(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて

【事務局】 (資料1 説明)

【委員】 中間見直しにおいて、放課後児童クラブの定員の確保について、令和5年度以降の小学校区変更による児童の増減の影響は見込まれていますか。

【事務局】 本中間見直しは令和5年度及び令和6年度の見直しであるため、見込んでいます。小学校区変更に対応するため、施設整備について、令和5年度は、香久山小学校の公設児童クラブの増設を1支援単位分行い、竹の山小学校は放課後子ども教室と放課後児童クラブの実施教室を入替えて児童数増加に対応します。

【委員長】 その他意見、もしくは感想はありますか。

【委員】 感想になりますが、赤池小学校区の公園について、休日は公園でたくさん子どもたちがいるのを見ると、保育園の申込み人数が増えて、今後自分に順番が回ってくるか不安に感じます。友人に聞いても赤池小学校はとも児童数が増えていると将来的な不安があると話していて、放課後の居場所についても今後の児童増加を予測するのは本当に難しく、推計による計画値が今後の定員の確保を保証することや、今後の課題や問題についてしっかり向き合って考え、どのような手法で取組むかを計画で示し、計画上の数値に対する意味を市民に対してどのように理解をしてもらえるかが重要だと考えます。

【委員】 感想になりますが、障害者支援の役割として、厚生労働省の検討会の資料にも児童発達支援センターは、子育てを支援する役割で位置づけられており、教育、福祉、保育全ての分野における障害児の生活をバックアップすることを意識して支援していますが、数字に表れないところで、それぞれの場所で障害がどの程度受け入れられているか一番気になるところです。相談支援の場でも、保護者が子どもの障害について理解がないこともあり、説明しても受け入れられない方も多く、児童の障害を拒否されている保護者の支援が一番難しいです。計画上の数字には表れない部分で、それぞれの事業が単体ではなくどのように連携していくかが保護者の安心に一番繋がるところだと感じます。行政の力だけではなく、民間の様々な施設の

ネットワークがうまく繋がることによって日進市の子育て支援の大きな歯車がうまく回っていくことを願います。

【委員】 新生児訪問について、保育園関係の相談も多く、最近では赤池地区に行くことが多いです。相談の中には、保育園が入りづらいという訴えもあり、お母さんたちにとって切実な問題があり、地域によって入りやすさの差があることも感じます。今後の見通しとして、どの地域に住んでいても同じように安心して暮らせるよう、それぞれの市役所の課が連携して様々な市民の声を大事にし、支援を行っていただきたいです。

【委員】 切れ目のない支援を実現するためには、1人の子どもが保育園から小学校に上がって児童クラブを使ったり、学校に上がる前にすくすく園を利用していたりと、その子ども自身と関わった関連機関でどのような様子だったかの情報の共有が必要であると感じます。

【委員】 子育て支援センターについても関連機関との連携が取れていると切れ目のない支援ができると感じます。

(2) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

【事務局】 ① 令和5年度保育園等利用申込状況について 資料2説明
(質問及び意見無し)

【事務局】 ② 令和5年度放課後児童クラブ等の申込状況について 資料3説明
(質問及び意見無し)

3 その他

【事務局】 令和5年度について、令和6年度に実施する第3期の計画策定に合わせて国の指針等に基づくアンケート調査を実施します。また、子どもの意見の反映について、こども基本法に基づく施策等の検討を本委員会において実施していく予定です。

【委員長】 他に無ければ、以上で令和4年度第3回子ども施策推進委員会を終了します。

(閉会) 午前11時閉会